

ふるさと通信

発行日：平成26年10月8日
 発行者：温海庁舎総務企画課

秋本番 運動会！

9月7日(日)温海地域では一斉に運動会が開催されました。自治会単位や地区自治会単位など規模は様々ですが、この日は絶好の運動会日和に恵まれ、子供からお年寄りまで笑顔一杯の一日となりました。



秋の風景

ふるさと温海は晴天が続き、稲刈りも順調に進んでいます。写真は楨代集落からあつみ温泉IC方面を写しています。最近はコンバインによる稲刈りがほとんどですが、昔ながらの天日干しの光景も見ることができます。稲刈りが終わると山々は紅葉の季節を迎えます。

温海の秋はイベントが盛りだくさん！摩耶山秋の登山会、温海岳ブナの森登山会、金山四の滝レッキングなど自然に親しむイベントの他、農林水産まつり、しな織まつり、越沢新そば祭り、一霞かぶまつりなど、食をテーマにしたイベントが目白押しです。温海の自然と食を満喫した後はゆっくり温泉につかって・・・、いかがですか。



マリンタウン「夕陽の里」が価格改定によりお求めやすくなりました。

販売価格帯：337万1千円～393万5千円
 単 価：約13,600円/m²(約44,700円/坪)
 販売区画：4区画(面積：249.42m²～291.17m²)



買い物、交通、レジャーに便利！！自然豊かな住環境





2014◆関川しな織まつり◆

国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の里「関川」を会場に開催。関川の特産品、おいしいものがいっぱい！

◇日時:10月18日(土)午前10時～午後4時

10月19日(日)午前9時～午後3時

◇会場:しな織センター、戊辰の役史跡公園まやみ広場 ほか



金山坑道、四の滝巡りトレッキング

◆近年、戦国～江戸時代に金を産出していたことが判明した「金山(かねやま)坑道群」と落差50mの名瀑『四の滝(しのたき)』を巡る、紅葉狩りトレッキング。

《往復8キロ、3時間ほど》小学生から参加できます。お気軽にどうぞ。

◎日時:10月19日(日) 午前9:00 温海川「中小屋」集合

◎特典:温海川の深山「三方倉山」から流れる清流で栽培した“温海川米コシヒカリ”1kgを参加者全員にプレゼント！

◎お問い合わせ: 温海川自治会 忠鉢 (TEL:080-1840-2848)



越沢新そばまつり

新そばまつりでは地元山菜料理を添えた特別メニューを準備しております！
地元特産品の直売もあり、摩耶の麓の山の幸がたくさん並びます。

★日時:11月1日(土)2日(日)10:00～14:00

★会場:まやのやかた(鶴岡市越沢 国道345線沿い)

★内容:『新そば会』地元山菜料理を添えた特別メニュー

※1人前1,000円:各日先着200食限定！！

地元で収穫されたおいしい山の幸をたくさん準備。

★お問い合わせ:まやのやかた 電話:0235(47)2430



一蓑入魂 21世紀かぶ祭りin一霞

在来野菜として古くから歴史をもつ温海かぶ原産の地、一霞。

なかなか手に入りにくい生の温海かぶの販売、うまいもの市などの催しを準備！

□日時:2014年11月2日(日) 10:00 ～ 商品売切れ次第終了

□会場:一霞公民館(鶴岡市一霞 JRあつみ温泉駅より車で約15分)

□内容:「生かぶ販売」温海かぶの生かぶを手に入れられるチャンスです！

「うまいもの市」温海かぶ漬や地元農産物・山菜などおいしい食べ物！

□お問い合わせ:温海かぶ生産組合(0235-43-3201)まで

第37回
江戸川区民まつり
10月12日
午前9時から午後4時まで
都立篠崎公園

「念珠関辨天太鼓」出演！

第37回江戸川区民まつりに鼠ヶ関の「念珠関辨天太鼓創生会」が出演します。皆さん是非お出かけのうえご声援お願いします。温海地域をはじめとする鶴岡市の物産展も行っています。

【出演時間】

午前11時20分～ ハートフル広場

午後 1時30分～ ハッピー広場



あとがき

御嶽山の噴火事故など自然災害が大々的に報道されております。自然の前に我々人間はあまりに無力であることを改めて感じさせる事故となりました。犠牲者の方々のご冥福、負傷された方々の一日も早い回復をお祈りするものです。

昭和39年6月16日に発生した新潟地震から50年が経ちました。以来温海では大きな地震に襲われていません。私は当時2歳半で、多分記憶にはないと思うのですが、地震があるたびに母親からその時の話をされるものですから、あたかも体験したかのような光景が頭に浮かびます。「家の前にはしごを並べておむつを枕代わりに寝た」「学校の校庭が割れて水が噴き出した」「裏の竹やぶに逃げた」「爺さんが家の中で醤油瓶を抱えて震えていた」「家の屋根が一旦地面に当たって戻った」など。話は半分としても相当の恐怖であったことは容易に想像できます。東日本大震災での津波被害を教訓に、温海地域では情報伝達体制の整備や避難路、避難場所の整備を行ってきましたが、8月26日、政府から日本海側沿岸を襲う恐れがある津波の高さに関する推計が公表されました。この推計によると、鶴岡市では秋田県の男鹿半島から庄内沖に加え、庄内沖から新潟県沖の断層を分析して算出、最大13.6メートルの津波が襲うと予想され、平地でも8.4メートルと予想されています。さらに、地震発生から第1波(平地での高さ30センチ)が到達する最短時間も5分と予想されています。これは従来の想定を大きく上回るものであり、早急な対策の見直しが求められています。 担当:鶴岡市温海庁舎総務企画課 課長補佐 五十嵐浩一